

しおざわ

塩沢地区

(新潟県南魚沼市)

- 計 画 期 間 平成 18 年度～平成 21 年度
- 面 積 27 h a
- 交付対象事業費 135 百万円
- 市人口 54,332 人

ポイント 「雪国の歴史と文化が薫るまちづくり」

地区概要 従来の商業機能に加え観光・都市サービス機能の向上に努め、歴史・文化資源を活かした歩いて楽しい回遊型歴史文化商業地区を目指す。

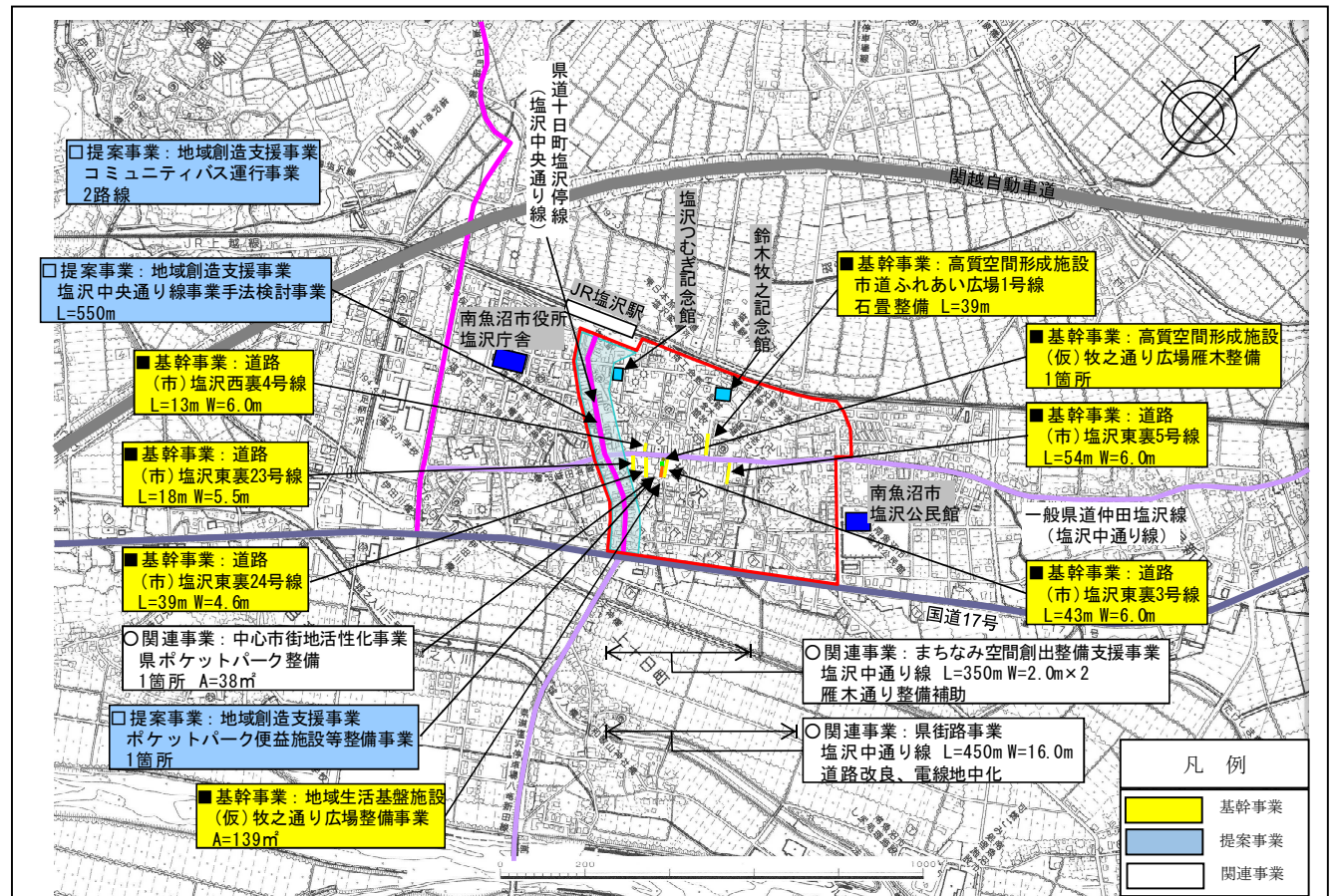
目 標 街路事業や雁木どおりによる快適な歩行者空間の整備や街路に接続する路線の整備、歴史ある街並みの復元などと観光施設や各種イベントなどとの連係により、地区の面的な活性化を促し、訪れ歩きたくなる街並みづくりにより中心市街地としての再生を図るとともに一層の観光振興を図り、暮らす人々の愛着を深め誇りをもてるまちづくりを進める。

指 標 観光交流人口及び定住人口減少の抑止を目標に、商店街、地区全体及び観光施設の活性化となる指標を設定した。

街路歩行者数	204 (H17)	→	230 (H21)
主要観光施設への来客数	14,816 (H16)	→	14,816 (H21)
定住人口	1,343 (H17)	→	1,343 (H21)

事業内容 基幹事業 (111.2 百万円) → 道路 (5 路線、幅員 4.6m～6.0m、延長 167m)、広場 (139 m²)、歩行空間整備 (雁木整備、石畳整備)

提案事業 (23.8 百万円) → コミュニティバス社会実験、ポケットパーク施設整備、まちづくり整備手法検討



地区の現況と課題

旧三国街道の新潟県側の玄関口として栄えた塩沢地区は、重要無形文化財「越後上布」等の伝統織物の産地として、また、江戸時代の雪国の暮らしを著した「北越雪譜」の著者鈴木牧之のふるさととして知られる旧来の市街地である。町屋様式を備えた街道沿いの商店街は、郊外型大型店の隆盛等により中心市街地としての求心力を失っている。

そこで沿線住民は、牧之通り組合を発足し、県施工の街路事業に合わせて2mのセットバックをして雁木を建築するとともに、「まちなみ形成協定」を締結して、歴史と文化が感じられる塩沢地区特有の町並みの再現を目指している。

区域内の観光資産を有機的に結びつけるため、中心の街路整備に合わせ、地区内への散策路としての市道整備が必要である。また、歴史や文化、観光施設、散策ルート等、地区の魅力を再確認し、観光客への一体的な情報提供も必要である。

提案事業の特徴

コミュニティバス運行

旧塩沢町の中心地である当地区への市民の足となるコミュニティバスを運行するにあたり、最適な乗降箇所及び運行時間等を把握するために、実験を行う。

ポケットパーク便益施設等整備事業

新潟県により休憩施設（ポケットパーク）が設置されたことを受け、より効果的なまちづくりに資するため、まちなみに配慮した景観でトイレを整備する。

塩沢中央通り線事業手法検討事業

区域内の塩沢中央通り線の改良を前提とした沿線区域の将来計画を模索することにより、市街地全体の活性化に資するため、事業手法を検討する。

計画策定プロセス

関係住民の勉強会

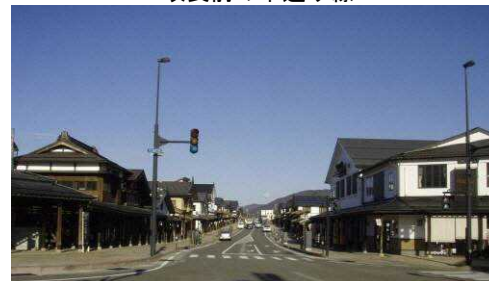
まちづくりについて勉強会を重ね、必要不可欠な街路（旧三国街道）事業を中心とした「塩沢雪国歴史街道整備計画書」を作成し、自分たちの目指すまちづくりを進めている。

他地区との交流

塩沢駅通りからのシンボルである巻機山の姿は神々しい。その麓に位置する上田地区と「織り姫の道協議会」を発足し、道でつながる両地区を一緒に活性化するための手法及び目指す方向について、県・市・地元で継続して検討している。



改良前の中通り線



現在の中通り線



まちなみに合わせた市道改良



「雪国歴史街道」
整備計画書



景観に配慮した新しい町並み